保護者の皆様

令和４年度学校評価　保護者アンケート結果

秋田きらり支援学校

年末に実施しました保護者アンケートへご協力いただきましてありがとうございました。アンケートをもとに学校では今年度を振り返ると共に、次年度の改善に向けて検討しているところです。遅くなりましたが、結果をご報告いたします。

【各質問項目の結果から】

２５項目中２１項目が、「十分できている、ほぼできている」と答えた方の割合が８５％以上でした。

８５％に満たない項目は「職員は自立活動室や水治学習室の施設設備をうまく活用しているか」「居住地校交流、交流及び共同学習等の教育活動は充実しているか」「地域の人材を活用した教育活動は充実しているか」「地域への情報発信（報道関係・理解啓発活動・交流関係等）に努めているか」の４項目です。

これらは「わからない」と答えた方の割合も高かったこともあるかと思いますが、コロナ禍で活動の制限を余儀なくされたため、直接体験が減少したことも関係していると思います。今年は間接的な交流などで、上記の項目を少しでも保障するべく行ってきました。今後も、児童生徒の経験を広げ豊かな学びにつなげるよう、校内の学習時間の確保と学習内容の充実との両立を図りながら、より効果的な校外の方々との交流の在り方について検討するとともに、様々な形で保護者の皆様や地域の方々に積極的にお伝えするようにしたいと思います。

【文章で記述していただいた内容から】

たくさんのご意見等をいただき、ありがとうございました。学校をより良くするためのご提言と真摯に受け止め、改善を図って参ります。

（１）　担任間の情報共有、教職員同士の連携ができていない部分があった。連絡帳の記入がない日があったので、本人の様子をできれば連絡帳や口頭で知らせてほしい。

〈回答〉複数の職員が関わることができるのは特別支援学校の良い点でもありますが、ご指摘のとおり連携が重要になります。情報共有は心がけてはおりますが、特に今年はコロナ禍により職員が欠勤せざるを得ない状況が増え、臨機応変な対応が求められました。そのため連携不足や連絡帳の記載漏れ等不十分な点もあったかもしれません。今後は、児童生徒の安全確保や指導の充実を最優先に考えつつ、保護者の方に不安を抱かせないよう、日常的に小さなことでも情報共有を図り、確実にお伝えするようこれまで以上に意識して参ります。もし何らかの理由でその時にお伝えできなければ、お電話など別の形で追ってお伝えするようにしますので、ご不明な点はどうぞ遠慮なくお知らせください。

（２）　学部が変わった時、個別の支援計画等にもとづき継続されているのか疑問がある。

〈回答〉学部が変わっても個別の支援計画は引き継ぎ、次の支援に生かしております。学部が変わり、年齢や卒業後に向けて育てたい力を考えた上で変更することもありま

す。ただその際、保護者の皆様にもお伝えし、ご理解をいただくよう努めて参ります。

（３）あいさつを返さなかったり、言葉遣いが適切でなかったりする教員がいる。

〈回答〉挨拶や場面に応じた言葉遣いなどは、社会人としてはもちろんですが、児童生徒のモデルでもある教職員は、率先して大事にしなければならないことだと考えております。折に触れ、職員朝会や職員会議でも確認してはおりますが、まだ不十分な面もあったのかもしれません。また、他のことに対応しており気付かなかったこともあるかもしれません。ご不快な思いをさせてしまったことがあれば大変申し訳ありませんでした。気持ちのよい挨拶は学校を明るい雰囲気にしてくれます。全職員で今一度思いを一つにして、笑顔で気持ちの良い挨拶、相手を大事にした丁寧な言葉遣いを意識していきたいと思います。

（４）社会へ出るための指導をしてほしい。進路情報は一般就労の可能性のあるものなども知りたい。

〈回答〉学校と社会とはつながっています。学校を卒業後社会で生活していくための力は、高等部だけではなく、幼少期から培われていくものだと考えています。小学部段階からの学びや学びに向かう姿勢はすべてつながっていると考えて、本校でもキャリア教育として様々な場面で学部を貫いて実践しております。ただ、その視点でお伝えすることがもしかしたら不足していたかもしれません。進路に関する情報などは、学級・学部や進路だよりなどでも随時お伝えしていきます。一般就労については情報はあまり多くはありませんが、Ａ棟北側、男女更衣室の間にある本棚にいくつか資料を置いてあります（公務員採用試験案内、障害者雇用の求人など）ので、来校された際にご覧ください。必要な情報を提供したいと思っておりますので、「こんなことを知りたい」ということがあれば、玄関の進路コーナーに質問箱も設置しておりますし、直接担任にでも結構ですので、ぜひお気軽にご相談ください。

（５）コロナ禍でしょうがない事だと理解しているが、もっと地域とのかかわりがあればいいと思う。

〈回答〉児童生徒の安全を守りつつ、経験の拡大を図るため、感染リスクをみながら直接・間接の地域との交流を行ってきました。今後の感染状況にもよりますが、国の感染対策の変化も考え合わせながら、より豊かな経験や地域へ本校の魅力をお伝えする機会としても、様々な交流の形を考え、本校の教育活動や児童生徒について知って頂けるよう工夫していきます。

（６）丁寧な指導・支援をありがとうございます。けがのないようにお願いします。

〈回答〉充実した教育は、安全・安心が守られてこそ実現すると思います。児童生徒の行動を予測しながら、安全な環境や介助方法の確認、危険予防の視点での個々への目配り、複数の目でダブルチェックなど心がけていきます。

（７）リハビリ参観やリハビリの先生を学校に呼んでもらう機会をもう少し増やしてもらえたらうれしい。

〈回答〉専門家から具体的にいただく助言は大変有益であると思っております。今年度も医療療育センターのリハビリを参観したり、リハビリの先生方においでいただいたりしましたが、感染状況により、医療療育センターとの交流制限があった時期もあり、計画どおりには進みませんでした。また、医療療育センターの本来の業務との兼ね合いもありますので、今後もリハビリテーション部と連携を密にして、情報を入手し、安全で効果的な学習の参考にしたいと考えております。

（８）思春期なので、メンタル、体の変化等感じていると思います。親に言えないことも多々あると思うので、何か悩んでいる様子や他あったら、こちら側に情報共有して頂けたら、良い方向にすすむのではないかと思います。

〈回答〉確かに保護者に言えないことでも教師には言える場合もあるかもしれません。言葉だけでなく、表情や行動など些細なサインを見逃さないようにし、心を汲み取る努力をしながら、保護者の方と共有していければと思います。

（９）またコロナが増えてきた場合は、校外学習などはなくなったりするのでしょうか？

〈回答〉新型コロナウイルス感染症に関しては、国でも扱いのレベルが今後これまでより下がるとされています。基本的には国の対応に応じ県の方針を踏まえて、児童生徒の安全を最優先にしながら、できる形でとなります。かといって、急に感染症が全くなくなる訳でもないと考えられますので、本校では状況を見ながら、学校医に判断を仰ぎつつ安全を優先した対応となります。これまでも校外での学習は感染予防対策をしながら、できる形で行ってきましたので、その時々の状況に合わせ、よりよい形で児童生徒の心に残る有意義な学びの場の設定を考えていきます。

（１０）地震想定の避難訓練では、前もって指定された時間に迎えにきていたのに学校からのメールが来たのが玄関に入ってからでした。又、玄関に入ってから先生達が机を並べたりしており準備不足が否めませんでした。あらかじめ時間を手紙で知らせているので、その前に準備しておくべきではないでしょうか。

〈回答〉今回は初めての試みということで、時間や動きは保護者にある程度お知らせしておりましたが、実際は災害が起こってから動き出すということで、その想定で職員は動きました。そのためお忙しい中時間を合わせておいでいただいた保護者の方々には、待ち時間が発生してしまいました。いかに早く引き渡すかということよりは、確実に引き渡す段取りの訓練であったということをご理解いただければと思います。やはりやってみて新たに分かることも多々ありました。「想定外」をなくすため、様々な形で訓練を重ねていきます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

アンケート内容は、なかなか答えにくい項目もあったかもしれません。次年度の実施に当たっては、保護者の皆様がより答えやすい内容にしたいと思います。

このほか、皆様からたくさんの感謝や励ましの声をいただき、教職員一同大変うれしくありがたく思っております。これを励みにまた気持ちを引き締めつつ全教職員一丸となって教育活動の充実に努めて参ります。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。改めまして、ご協力ありがとうございました。